東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大地をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ

Vol.44　第2131回例会　2010.7.15

今年度会長テーマ　温故知新　そして　和

■司会：
高橋(眞)例会運営
委員長

■点鐘：山本会長

■合唱：ロータリーソング
「日も風も星も」

◆ソングリーダー：
熊木会員

■お客様紹介：
土方パスト会長

◆ゲスト：
東京東大和ＲＣ
本荘　修　様

■会長報告　山本会長

皆様こんにちは。
さて、本日は第3回目の例会になります。恒例の本年度スローガンと重点事項の復唱をさせて頂きます。「温故知新　そして　和」古き　を　たずね　新しきをしれば　もって師となるべし。
①例会に出席し、懇親を深め、自分自身に有意義な例会を見つけよう。そして例会出席の楽しみを見つけよう。
②例会を欠席したら、メークアップを必ずしよう。
③入会時のスポンサーは新人メンバーのメークアップの面倒を必ず見よう。
④食事の廃棄を少なくする為に例会を欠席する時には、前日までに事務局に連絡を入れよう。
⑤夜間例会、懇親会、旅行に奮って参加し懇親を深めよう。
⑥クラブメンバーの全員卓話を盛り上げよう。
⑦マイ箸を無くさない様に使おう。
⑧交換留学生をしっかりと育てよう。
以上を今年1年間宜しくお願いします。
さて、昨日は土方パストガバナー補佐、野崎征吉パスト会長、嶋田パスト会長、枚山直前会長、高橋直前幹事、中丸幹事と総勢7名で、東京武蔵村山ロータリークラブ38周年記念卓話にお邪魔してきました。武蔵村山さんも29名スタートと厳しい船出ですが、野島会長、宮崎幹事及びメンバーの皆さんが固く結束し頑張っていらっしゃいました。その証拠に前回、今回の例会と出席率100％を2回も達成されました。とても素晴らしいことではあ

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／野村　高章　石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

りませんか。東村山も是非100％例会を実現しようではありませんか。戸澤例会運営委員長を中心に皆様のご協力を頂き、近日中に100％例会を是非、皆さんの手で実現しようではありませんか。皆さんのご協力があれば、必ず実現できるはずです。ご協力を宜しくお願いいたします。
さて、今回武蔵村山で卓話をされました方は、親クラブにあたる立川ロータリークラブのパストガバナー鈴木正二様で、御年88歳、恐ろしい程、お元気な方で、取り分け気を使う健康方も特に無し。酒も飲む、女性も好き、そして好奇心は人一倍旺盛で、この事が長生きの秘訣です、と話されていました。また、職業奉仕についても、皆さんは難しく考え過ぎですと、例を挙げてとても解りやすく話して下さいました。洋服にしても、車にしても、製品になるまでには、原材料を作る人、それを加工する人、部品を作る人、組み立てて製品にする人、製品を販売する人、と数多くの職業人の手を経て製品が出来て来ます。その製品を作る人々は生活の為に仕事をしていると思っている人々が殆どかもしれないが、無意識のうちに各自の仕事を通して立派な職業奉仕と社会貢献を行っているのです。そのことに気付き、仕事を通して職業奉仕を自分はしているのだ、社会に貢献しているのだと自覚することが、職業奉仕の第一歩ではないでしょうか、と話を結ばれました。皆様はどう感じられたでしょうか？
さて皆さん、あと2～3日で梅雨明けの様子ですが、一気に気温が上がり、直射日光に当たる機会が多くなると思いますが、きちんと水分補給を行い(1回に人間の体は100cc前後しか体内に吸収できませんので、こまめに水分を補給して下さい。)、帽子をかぶり、男性でも日焼け止めを塗って下さい。(紫外線が近年では、10年前の5倍以上と言われています。油断すると男性でも火傷状態になります。)そしてよく睡眠を取り、元気に今年の夏を乗り切って下さい。

■幹事報告　中丸幹事

■ガバナー事務所：
地区青少年交換来日学生ホストクラブ支援金の件について
支援金　7月、1月の予定
約331,500円×2回
口座については連絡済みです。

■青少年育成委員会、社会奉仕委員会：
2010～11年度地区青少年育成委員会開催の件について
7月27日(火)　15:00～17:00
於　ガバナー事務所

■ロータリー財団委員会：
未来の夢試験段階のニュースレター7月号

■国際ロータリー事務局：
2010年モントリオール国際大会に関するアンケートの受理

■ガバナー事務所：
・ＲＩ理事からのアンケート協力要請の受理
クラブ定款第4条「綱領」翻訳問題についてのアンケート調査協力のお願い
→会長、もしくは「ロータリーの綱領」に関心の深い会員、または、英語力の高い会員のうち1名の回答を送る。
・2013 - 14年度ガバナーノミニー候補者推薦のお願いについて
〆切り　2010年9月15日(木)

■青少年交換委員会：
青少年交換来日学生オリエンテーション及び、日本語集中研修のお知らせについて
実施期間　8月10日(火)～25日(水)
場所　ＹＭＣＡ東山荘
費用　学生負担10万円、クラブ負担10万円

■回覧：
ハイライトよねやま
東京小平ＲＣ週報

■出席報告　中條例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
35	30	0	5	85.71

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：91.43％
■前々会メークアップ者：なし

■ニコニコＢＯＸ　高橋(徹)クラブ管理委員

■皆出席：
嶋田会員(2回目)

■会員誕生祝月：
熊木会員

◆本 荘 様：お久しぶりに参加させて頂きます。
本日はよろしくお願い致します。

◆山本会長、中丸幹事：
本荘様ようこそいらっしゃいました。昨日は土方パストガバナー補佐、野村パスト会長、嶋田パスト会長、枚山直前会長、高橋直前幹事、中丸幹事、武蔵村山ＲＣ38周年記念卓話に出席頂きましてありがとうございました。また写真ありがとうございます。

◆當麻会員、樺澤会員、金子会員：
本荘様ようこそいらっしゃいました。

◆隅屋会員：先週の野口宮司さんのお祓いありがとうございました。皆と共に1年間頑張ります。本荘さんようこそいらっしゃいました。

◆高橋(徹)会員、戸澤会員、石山会員、嶋田会員
樺澤会員、當麻会員、高橋(眞)会員、野澤会員
五十嵐会員、田中会員、金子会員、漆原会員
目時会員、野崎(征)会員：
写真ありがとうございました。

本日のニコニコ合計：　41,000円
累　　計　：　215,000円

■ゲスト挨拶

■東京東大和ＲＣ
本荘 修 様

新年度早々に東村山に来られて感動しています。ここには、大先輩が多く我々は、良いと感じたことはなんでも真似しようという方針でした。来年40周年を迎えます。ガバナー訪問は既に済み安部ガバナー補佐も来られましたが、多くの会合が千葉県方面で実施され、地元に帰るのに2時間近くかかるので、中間地点の新宿あたりで、少し考えてもらえるようにお願いしてもらえないでしょうか。今日は、皆さんから良く来たという歓迎の温かい拍手を戴き東村山に来たという実感があります。これからも、どうぞ東大和を宜しくお願い致します。

■委員長報告

■ロータリー財団委員長
代理　戸澤会員

地区ロータリー財団セミナー

7月13日神保町の如水会館で3時～5時開催
当クラブから山本会長と小町次年度会長と目時財団委員長の代理で私が出席した。全体で250～260名の参加。古宮財団委員長の開会の挨拶、上野ガバナーの挨拶があり、長田副委員長の司会で5時までセミナー。グローバル補助金と新地区補助金の説明があり、従来2580地区は納めるだけで使わなかったが、新地区補助金は残さないで使ってしまうようにして欲しい、残した場合はグローバル補助金に繰り入れられてしまう。今年の予算は決まってしまっており、今から計画するのは次年度の社会奉仕委員長を中心に事業計画をすることになり、締切りが2011年4月までに申請する事。
今年の補助金は福生中央ＲＣの人道的奉仕活動を含めたシャッター街再生、宜野湾ＲＣのアメラジアンスクール沖縄へ教材用コピー機の贈呈などがありました。ちなみに、2009-2010年財団寄付状況は多摩分区では達成率平均70％で当クラブが3,300ドルで達成率84.62％、武蔵村山が3,500ドルで101％で最高でした。

■野村クラブ管理委員長

8月21日(土)の納涼屋形船の回欄をしていますので、ご確認ください。東村山駅出発を午後4時とし、船の乗船時間を午後6時30分といたしました。往復のバスは中條会員の会社にお世話になります。

■クラブ協議会

■當麻職業奉仕委員長

☆活動方針
職業奉仕とはロータリーの第2奉仕部門であります。シェルドンが1902年に自らが設立したシェルドン・ビジネススクールで、20世紀の経営学の基本理念として教えていた考え方をそっくりそのままロータリーの奉仕理念として受け入れた独自の思考です。その目的には、事業及び専門職の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を生かしていくことが含まれます。
クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして、社会のニーズに応えられるようなプロジェクトを開発することが含まれます。また、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれます。

☆事業計画
1. 職業奉仕月間に因んで職場見学を企画する。(老舗の見学研修)
2. 会員研修委員会と連携を取り、勉強会を催します。「京都老舗の老舗17店舗に学ぶ」

■野崎(一)社会奉仕委員長

社会奉仕委員会には、青少年育成委員会を傘下に持ち、次代を担う青少年を健全育成すること、取り分け日本人が培った優しさ、勤勉さ、伝統的文化を継承させることが肝要と考えます。こうした点から今年の活動目標を次の通りとします。

1.産業祭への参加
当クラブでは20年以上も継続して、当市の産業祭で模擬店を出店し、多くの会員、消防少年団、交通少年団の団員にお手伝い頂き、ロータリーのＰＲ活動、物品の販売を行い、その収益金は上記両少年団の活動資金として提供しています。会員の活動の参加によりクラブの一体感を強め、青少年には活動に参加することによりロータリー活動への理解を深め、お金の大切さ、労働の尊さを認識できるものと確信します。

2.職場体験
少年時代から将来の目標を持つことは大切であり、職場体験を通じ職業の素晴らしさ(技能接客等)を体得させ、目的を持った人生を切り開く一助とする。既に会員企業にも受け入れて頂いていますが、児童・生徒が希望する職種があれば更にお願いする。

■神﨑青少年奉仕委員長

私は地元ではないので青少年を育てる関係団体との接触が判りません。副委員長の二ノ宮会員が実質的に青少年奉仕委員長と思っております。二人で共同作業となるわけです。

☆活動方針
未来を担う青少年の育成には、地域の青少年のスポーツ活動や奉仕サークル活動は欠かせない存在であると思います。ロータリーの奉仕の理念を持って積極的に具体的に活動を支援して行きたいと思います。

☆事業計画
1. 地域の青少年を対象とした団体との交流を持ち積極的に助成していく。
2. 環境問題について青少年と共に意見交換し考え、綺麗な街づくりに取り組み、社会奉仕委員会と共にクリーンキャンペーンを通して奉仕活動を行っていきたい。

■町田国際奉仕委員長

ロータリー　international service
ロータリーの第4奉仕部門でもあります国際奉仕部門は、ロータリアンが国際理解、親善、世界平和を推進する為に実施できること全てからなります。その方法は世界各国の人々、その国の文化、慣習、業績、問題等を知る事、いわゆる国際理解であり、また、旅行や国際大会出席による個人交流である親善であります。そして、さらには他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトに協力することであるとされています。
国際奉仕部門にはロータリー財団(皆さんよくご存知であります、人道的プログラムの原点、３－H、Health(健康)、Hunger(飢餓追放)、Humanity(人

間性の尊重))があり、この中にはポリオプラスプロジェクトもあります。世界社会奉仕委員会(ＷＣＳ)、ロータリー米山記念奨学委員会、青少年交換委員会、オン･ツー･ニューオリンズ委員会(ルイジアナ州1976年6月13～17日、67代ＲＩ会長ブラジルのエルネスト・インバッサティの時、開催されたがハリケーンの為中止になる)等があります。今年度の国際大会はルイジアナ州のニューオリンズで5月に開かれますので、クラブ管理委員会と協力しあい、多くの会員、ご家族の参加を促していきたいと考えております。

■野澤青少年交換副委員長

今年度、当クラブでは5年ぶりにハンガリーからの留学生Timea　JAKAB(ティミー・ジャカブ)さんを預かることになります。飯田委員長と私もカウンセラーを担当させていただきましたので、共にお世話をさせていただきますので、全会員の皆様にも併せてご協力をよろしくお願い致します。
青少年交換留学生を預かるのは、当2580地区では輪番制を取っておりますが、近年はどのクラブもホストファミリーを引き受けるメンバーがいなく、苦慮しているのが実情です。我がクラブもこの機会に是非、積極的にホストファミリーをお願いしたいと思います。また、青少年交換という事業についての使命や意義につきましても、この1年研修もし、青少年育成の役割も果たしていく年としたいと思っております。皆様方のご理解ご協力をお願い致します。

<活動方針>
青少年交換委員会は、世界的親交と平和を推進する上で、必要なことのひとつとして、次世代を担う青少年の育成と国際理解を深めるために活動する。

<事業計画>
・本年度は、ハンガリーからの交換留学生を受け入れるので当クラブ会員にホストファミリーの受入れをお願いする。
・1年間海外のロータリーと交換することにより、その国の言語を習得するとともに日本の習慣・文化を直接体験し、その中で相互に国際理解と親善を推進する。
・オリエンテーションを開催し留学生に対しての生活指導とカウンセリングを行う。毎回スピーチをして頂き日本語や日本文化に対する習熟度の確認を行う。
・地区青少年交換委員会やＲＯＴＥＸとの連絡を強化し共同開催行事などへ積極的に参加する。
・ＲＹＬＡ、インターアクト、ローターアクト等の他の新世代プログラムにも協力をしていきＲＯＴＥＸの協力も得ながら、受入学生と派遣予定学生の交流を深めます。
・危機管理委員会とも連携を取りながら、交換留学生に対する心身の安全に留意を行う。

■目時ロータリー財団委員長

今年度のＲ財団寄付目標は例年通り1人当り100＄で3500＄になります。ご協力をお願い致します。また、ポリオ撲滅の最終年になり1人3000円のご寄付をお願い致します。今年度は第2580地区が「未来の夢計画」に指名されました。その活動も積極的に行ってみたいと思います。

☆活動方針
会員の皆様がロータリー財団を自分たちの財団と自覚を持ち、財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化し、奉仕活動の充実と資金面の援助活動を出来る範囲の中で行っていきたい。

☆事業計画
1) 財団への寄付目標として1人100＄を達成すること。
2) パイロット地区としてプログラムの運営に未来の夢計画の実行に参加したい。

■野崎(征)米山奨学会委員長

過去10年分のクラブ概況を読んでみても、みんな同じことばかり書いてあり、それだけ米山は変更できない事業なのかなと思いました。会長の事業方針に従って、会長にご相談しながら進めていきたいと思います。早速ですが、会員1人当たり5,000円の寄付願いが米山委員会より来ていますので、ご協力お願いいたします。

■点鐘：山本会長